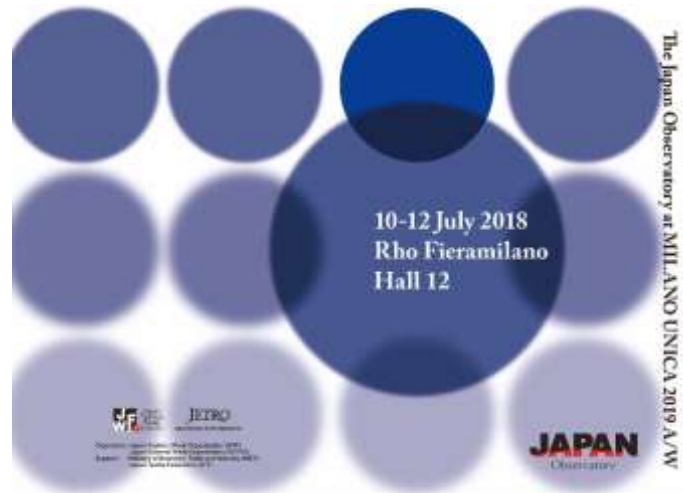




The Japan Observatory at Milano Unica 2019AW



日本のものづくり分野においては常に日本人の精神性を礎に「伝統・文化・技術」が共存しています。そして、日本のテキスタイルには、技術と革新に裏付けされる繊細な織りと編み、パリエーション豊かな後加工、原料を採求することで生まれる進化した素材表現等、世界中のクリエイターが惚れ込む唯一無二の素材が存在します。

The Japan Observatory at Milano Unica 2019AW は、厳選された日本企業 27 社・グループが出展する商談ブースと共に、出展企業の素材から構成したトレンド&インデックスをプレゼンする Japan PR ブースで構成され、日本が誇るイノベーション素材や匠の技を駆使した日本のプレミアムクオリティな素材を披露いたします。The Japan Observatory では、JAPAN TREND & INDEX ブースにて展示する素材に“ECO”マークを添付し、来場バイヤーへの PR をしてまいります。また今シーズンは、“スプマンテバー”を設置し来場されるプレス及びバイヤーに向けてドリンクサービスを行います。（* 仮: 11:00/14:30/16:00）

- 開催場所： Rho Fieramilano (Hall.12)
- 出展概要： 企業ブース+ JAPAN PR (TREND&INDEX) ブース
- 出展者数： 27 社・団体 （総展開面積 372 m²）
- 主催： 一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 / 独立行政法人日本貿易振興機構
- 後援： 経済産業省 / 日本繊維産業連盟
- URL: <http://www.japancreation.com/japanpavilion/milanounica/2019aw/index.html>

< 新規出展者&継続出展者 インタビュー紹介 >

● 北高株式会社

19 秋冬に向けて同社は得意とするメンズカジュアル素材を出品。カモフラ柄、インディゴ系布帛プリントなどを提案します。「ジャパンクラフト、サステナビリティ関連、オーガニックコットンも当社の特徴。欧州ではそうした要素に関心が集まると思う。とくにジャパンクラフトを訴求していきたい」と意気込みを語っている。



● スタイルテックス株式会社



これまでラグジュアリーブランド向けの先染め高密度織物を供給してきました。「間接的に販売してきたが、国内市場も今後、大きな成長は期待できない。一部輸出もしているが、欧州市場に直接発信しようと、初参加」しました。重衣料のコート素材でも、スレン染料で糸染めする高級品ですので、扱えるブランドも限られます。今回は綿の先染め高密度織物のほか、シルクの交織高密度織物、無地のシャンブレーなどを紹介します。

● 八木通商株式会社

展示会が9月から7月に早期化された点については、「歓迎している。得意先はメンズブランドが多く、従来から7月にイタリアの顧客を回っていた」とし、「この時期なら方向性にもし誤りがあっても修正できる」と語っていました。

今回はエコファー、デニム、マイクロピーチ、ストレッチ性とダウンプーフ機能のある軽量ダウンなどを出品。「デニムは毎回人気素材だが、エコを意識した素材も」提案します。



<The Japan Observatory JAPAN TREND& INDEX コーナー 施工イメージ>



The JOB の顔ともいえる TREND & INDEX コーナー。今回の施工は“融合、再構築”がキーワード。織細でシンプルな格子フレームを立体化し、グリッド状に増殖していく空間を演出。自由な所にビジュアルや生地をはめ込む事で、新しい見せ方、新たな創造性を表現する。

<JAPAN Fabric 展示点数>

トレンドテーマ	MUトレンド展示点数	トレンドテーマ	The JOB 展示点数
ORGANIC GRUNGE	50	Egoist's Essence	79
HANDCRAFTED ESSENTIALISM	61	Lost in Utopia	78
TECHNO ROMANTIC	25	Rustic Logics	82
Sustainable Fabrics	MU サステイナブル展示点数	Fashionista-Instagram	83
	79	INDEX	84

SCOTLAND, TURKEY AND ROMANIA ~ ORGANIC GRUNGE ~
 SOUTH KOREA, SWITZERLAND AND SWEDEN ~HANDCRAFTED ESSENTIALISM~
 BELGIUM, AZERBAIJAN AND INDONESIA ~TECHNO ROMANTIC~